取 扱 説 明 書

屋内用多機能タイマー　デジタイマ１００　TOP100X

RS485

このマークのついた
モルテン表示器は、
他機種であっても
連動できます。
(P5 <4>-(3))

重要　親機
複数のデジタイマを連動するときは、操作するデジタイマの 親機 キーを押してください。
(P5 <4>-(2)-①)

目　次

◀1▶ 安全上のご注意…… 1　はじめに

◀2▶ 使用上のご注意…… 2

◀3▶ 各部のなまえとはたらき…… 3
(1)停電補償(2)メモリーバックアップ(3)早送りキー(4)ブザー音色・音量切換
(5)コールブザー(6)カウント アップ／ダウン(7)メインタイマー1分以下 1/10秒表示
(8)得点・タイマーの消灯(9)オールリセット

◀4▶ オプション(別売)…… 5
(1)オプション接続図 (2)同じ機種どうしの連動 ① 親機 設定 ②得点表示位置の入れ替え
(3)他機種との連動

◀5▶ ご使用前の準備…… 6　使いかた
●機能の選びかた

◀6▶ 操作方法
(F01)バスケット:試合時間タイマー／得点／24秒・30秒タイマー …… 7
(F02)バスケット:試合時間タイマー／得点／タイムアウトタイマー …… 9
(F03)バレー:得点／得セット／タイムアウトタイマー …… 11
(F04)柔道:試合時間タイマー／抑え込みタイマー …… 13
(F05)ボクシング:試合時間タイマー／ラウンド数 …… 15
(F06)プログラムタイマー …… 16
(F07)ペースメーカー …… 17
(F08)敏捷性トレーニング …… 18
(F09)踏台昇降テスト …… 19
(F10)20mシャトルラン …… 20
(F11)反復横とびテスト …… 21
(F12)ストップウォッチ …… 21
(F13)タイマー …… 22
(F14)時 計 …… 23

◀7▶ 故障かなと思ったら…… 24　困ったとき

◀8▶ 仕　様…… 24
保 証 書…… 24

◀1▶安全上のご注意　必ずお守りください

⚠ 警告　指示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項

■分解や改造をしないでください。

発火や、異常動作を起こしケガの原因となります。
修理は販売店にご相談ください。

■水につけたり、水をかけたりしないでください。

ショート、感電の原因となります。

■電源プラグに着いたほこりはふき取ってください。

火災の原因となります。

■定格15A以上のコンセントを単独で使ってください。

たこ足配線すると、コンセント部が異常加熱して発火の原因となります。

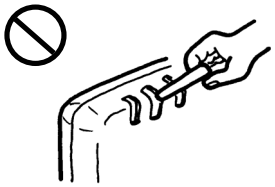
●ご使用前に,この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管し、必要なときお読みください。

molten®

⚠ 注意

指示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される事項

■製品の隙間に金属物、異物を入れないでください。

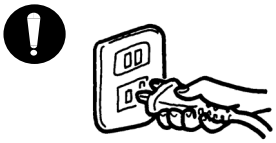


感電や異常動作を起こし、けがの原因となります。

■電源コードやケーブルを傷つけたり、自分で接続補修をしないでください。

火災の原因となります。

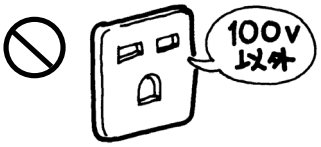
■電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。



感電やショートを起こし、発火の原因となります。

■交流100V以外は使わないでください。

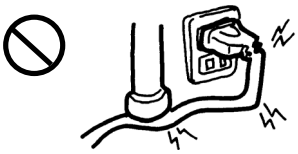
火災の原因となります。



■電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わないでください。

感電、ショート、発火の原因となります。

■電源コードやケーブルを無理に曲げたり、踏んだり、引っ張ったりしないでください。



火災、感電の原因となります。

■使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

絶縁劣化による感電漏電、火災の原因となります。

◀2▶ 使用上のご注意

操　作

■電源のON／OFFの間隔は5秒以上あけてください。

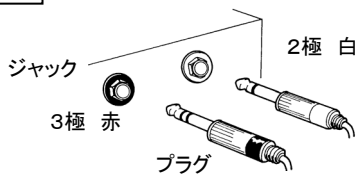
■キーは1つずつ押してください。

2つ以上同時に押すと受け付けません。（スタート／ストップ 、リセット キーのみ他のキーとの同時押し可能）

■鋭利なものでキーを押さないでください。

■ケーブルのプラグとジャックの色を合わせてください。

モルテン製のプラグ、ジャックは2極が白、3極が赤になっています。



使用・保管・お手入れ

■屋外で使用・保管はしないでください。

本品は屋内使用専用ですので、防水・防塵機能はありません。故障の原因となります。

■直射日光の当たる場所で使用・保管しないでください。

変形の原因となります。

■高温、多湿、結露する恐れのある場所でのご使用・保管はしないでください。

■ぶつけたり、落としたりしないでください。

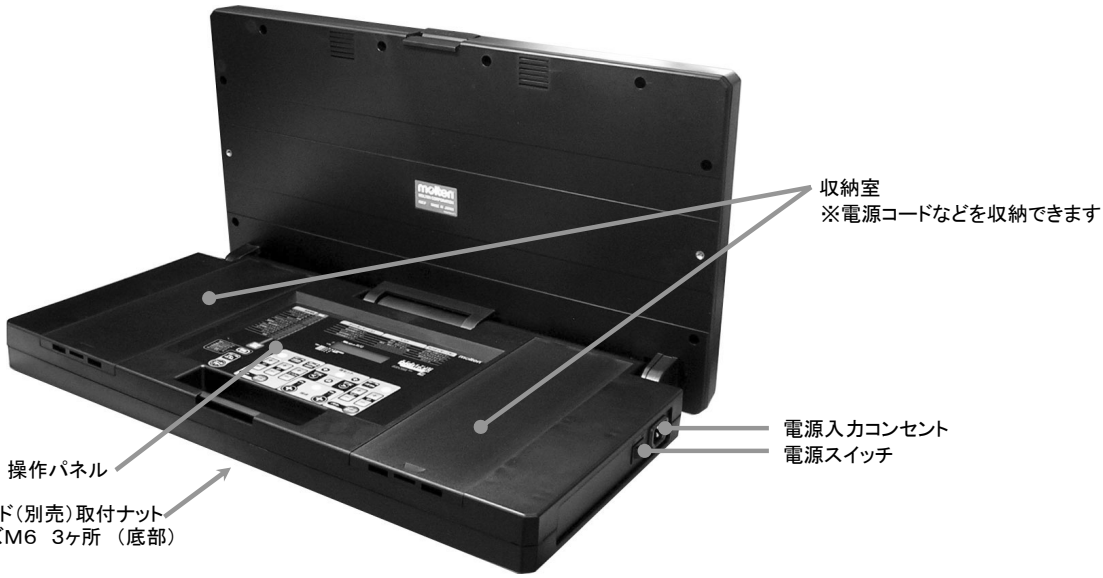
■ベンジン、シンナー、たわし等は使わないでください。

汚れは、柔らかい布でふき取ってください。

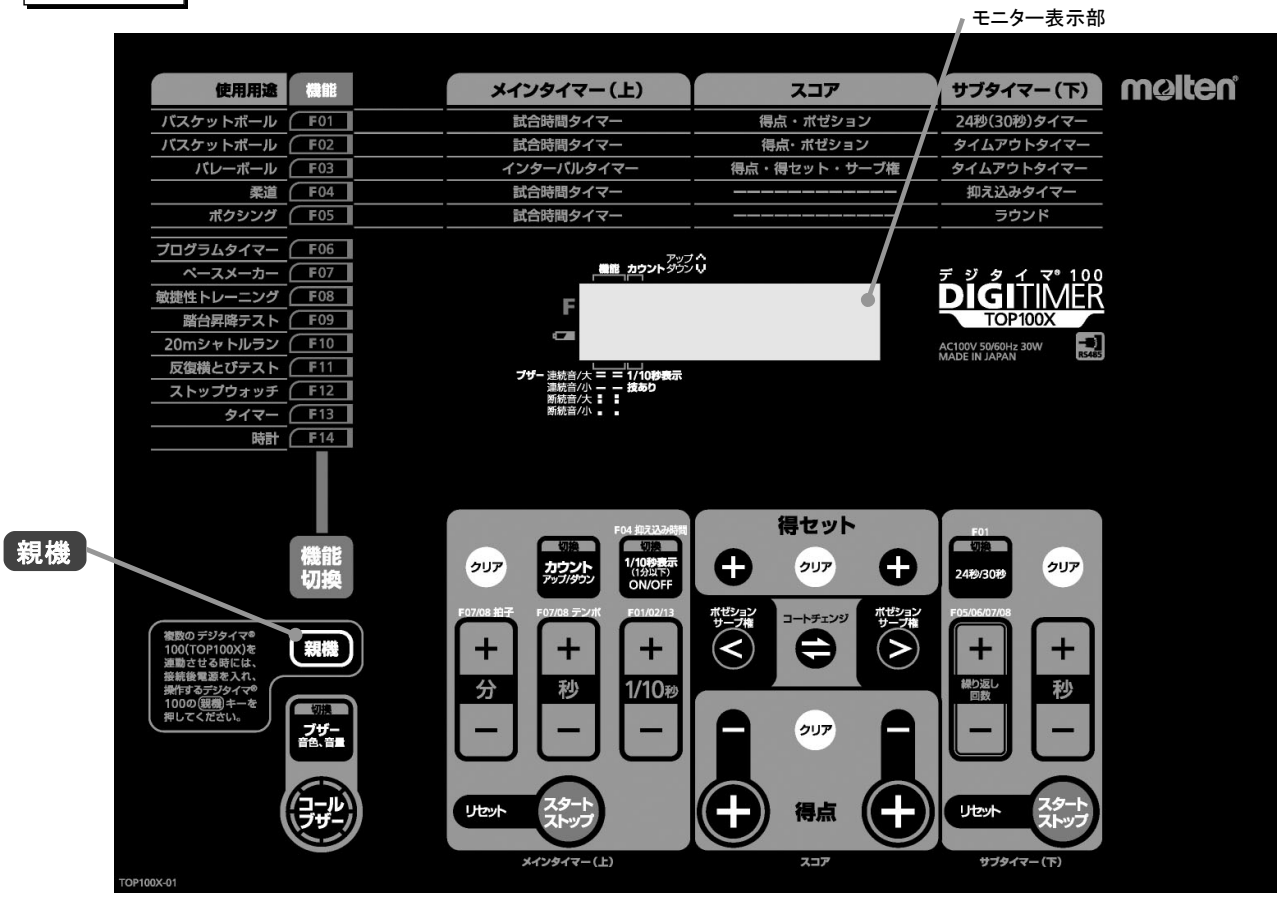
◀3▶ 各部のなまえとはたらき

表示面

操作面



操作パネル



■付属品：電源コード５ｍ　PW05C3　　１本

(1)停電補償

使用中万一電源コードが抜けたり停電になった場合、表示を消灯し、カウントを停止し、電源が切れる前の内容をずっとメモリーします。

(2)メモリーバックアップ

すべての機能について、電源を切る前の表示と設定内容を、ずっとメモリーしていますので、電源を入れるたびに時間などの設定をしなくてもすぐにスタートすることができます。

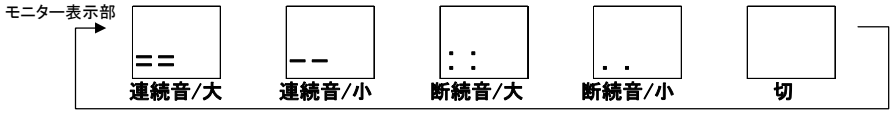
（例）①タイマー:20分で使用　②電源OFF　③電源ON　④ [リセット] キー

(3)早送りキー

[機能切換] [分] [秒] [1/10秒] [得点] [得セット] [回数] キーは、１秒以上押し続けると早送りします。

(4)ブザー音色･音量切換

[ブザー音色･音量切換] キーを１回押すごとにタイマー終了時のブザー音を



と切り替えることができます。

※機能（F07）ペースメーカー　～　（F10）20mシャトルランは音の高低が必要なため、連続音のみの設定となります。
※機能（F10）20mシャトルランは連続音/大のみの設定となります。

(5)コールブザー

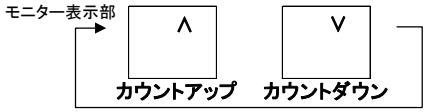
[コールブザー]キーを押すと、押しているあいだブザーが鳴ります。コールブザーの音は、[ブザー音色･音色切換] 設定した音で鳴ります。※”切”の時は連続音/大で鳴ります。

(6)カウント　アップ／ダウン

機能（F01）バスケット（F02）バスケット（F04）柔道（F05）ボクシングの試合時間タイマー（F06）プログラムタイマー　（F07）ペースメーカー　（F08）敏捷性トレーニング　（F13）タイマーは、カウントのアップ／ダウンが選べます。

タイマー [クリア] キーを押してから、[カウント アップ／ダウン] キーで選んで下さい。

※[クリア] キーを押すとそれまでの時間設定内容は消去されます。



(7)メインタイマー　1分以下1/10秒表示

機能　（F01）バスケット　（F02）バスケット　（F13）タイマーは、カウントが”ダウン”設定になっている時１分以下1/10秒表示が選べます。

カウント停止中に [1分以下1/10秒] キーを押すと、残り時間が１分までは分：秒　表示、１分をきると秒：1/10秒　表示に自動的に切り替わるよう設定されます。もう１度押すと解除され、通常の分：秒表示に戻ります。

(8)得点、タイマーの消灯（機能F01、F02、F03 のみ）

得点やタイマーなどが不要なとき消灯させることができます。

０を表示している時に [－] キーを押してください。消灯します。消灯している時に [＋] キーを押すと０に戻ります。

(9)オールリセット

ＴＯＰ１００Ｘはメモリーバックアップ機能があるため電源を切っても時間などの設定内容はクリアされません。 全ての設定をクリアしたいときや万一動作がおかしくなったときは、メインタイマーの [クリア] キーを5秒以上押し続けてください。時間などの設定がリセットされます。

◀4▶ オプション（別売）

（1）オプション接続図

※1. メインタイマー（ただし機能（F01）バスケットは24秒・30秒タイマー、機能(F03)バレーはタイムアウトタイマー）のスタート、ストップ、リセットを行うことができます。
※2. ブザー音の設定は1台目で行ってください。
※3. ペースメーカー、敏捷性トレーニング、20mシャトルランの早いペースには大音量ホーンが追従しきれないことがあります。
旧タイプのデジタイマとは、そのままでは連動できませんので、信号変換機CAXを別途お買い求めください。

（2）同じ機種どうしの連動

① 親機設定

複数のデジタイマを連動するときは、接続後　電源を入れ、操作するデジタイマの **親機** キーを押してください。

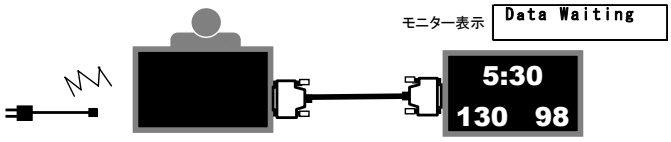
重要

⚠ 通信が開始され、親機以外のデジタイマの 親機 、コートチェンジ キー以外のキーは操作できないようロックされます。
子機の 親機 キーを、うっかり押さないようご注意ください。 子機が、子機になる直前の機能で、親機になってしまいます。

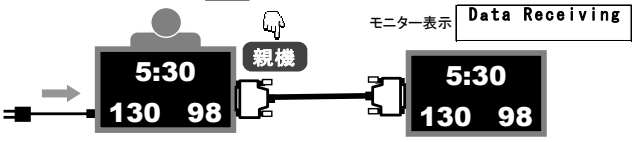
連動中うっかり・・・

■親機の電源コードが抜けた場合

①親機の電源コードが抜けた！

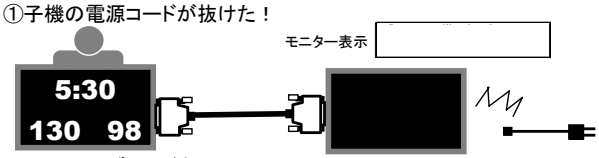


②電源コードを差し 親機 キーを押すと復帰します。

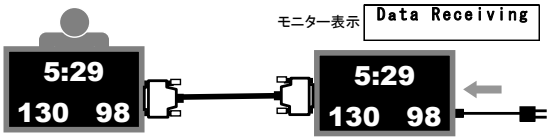


■子機の電源コードが抜けた場合

①子機の電源コードが抜けた！

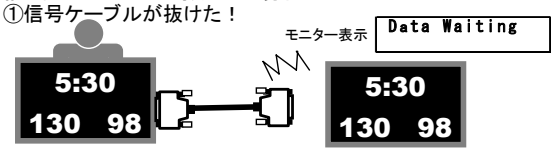


②電源コードを差すと復帰します。

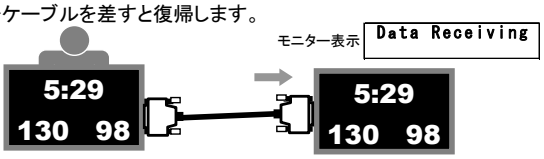


■信号ケーブルが抜けた場合

①信号ケーブルが抜けた！

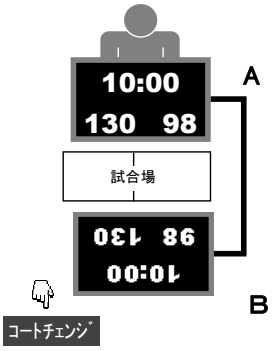


②信号ケーブルを差すと復帰します。



② 得点表示位置の入れ替え

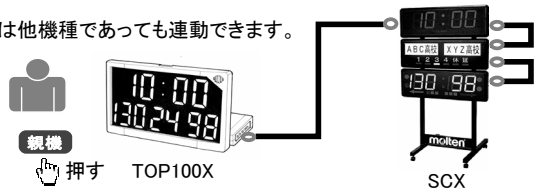
右図の場合、Bの得点表示位置はAと逆になり試合場と対応しなくなります。
その場合、Bの コートチェンジ キーを押してください。
Bの得点表示位置が試合場に対応するよう左右が入れ替わります。



（3）他機種との連動

RS485 このマークのついたモルテン表示盤は他機種であっても連動できます。

（例）TOP100XでSCX表示盤を操作する。



◀5▶ ご使用前の準備

1. 付属の電源コードのメス側を本体側面のコンセントに、オス側を電源コンセント(AC100V、50/60Hz)に差し込んでください。
2. 電源スイッチをONにしてください。
3. 操作パネルの 機能切換 キーをモニター表示の機能番号が希望の番号になるまで押してください。
   (カウント中は 機能切換 キーは受け付けませんので、カウントを停止させてから押してください。)

4. メモリーされている設定時間を呼び出す場合はメインタイマー、サブタイマーそれぞれの リセット キーを、
   設定内容を変更する場合は クリア キーを押して下さい。

◀6▶ 操作方法

(F01)バスケット

試合時間タイマー
得点／24秒・30秒タイマー

試合時間タイマーにピリオド・インターバル・ハーフタイムなどの時間を最大9種類までプログラムできます。 ※1

■試合時間タイマー／24秒・30秒タイマー

操作手順	キー操作 メインタイマー(試合時間)	キー操作 サブタイマー(24秒・30秒タイマー)	モニター表示
1. 試合時間に合わせてください (例:10分) (メインタイマー:分＋1・分ー1・秒＋1・秒ー1キー)	分＋1 押し続け		10:00 0 24 0
※1 プログラムモード 2. インターバル、第2ピリオド以降をプログラムする場合 ①1. 第1ピリオドをメモリーします	リセット		0:00 24 P2
②インターバルに合わせてください (メインタイマー:分＋1・分ー1・秒＋1・秒ー1キー) (例: 2分)	分＋1 2回		2:00 24 P2
③インターバルをメモリーします	リセット		0:00 24 P3
④第2ピリオドに合わせてください (メインタイマー:分＋1・分ー1・秒＋1・秒ー1キー) (例:10分)	分＋1 押し続け		10:00 24 P3
⑤第2ピリオドをメモリーします 以下、ハーフタイム、第3ピリオド、インターバル第4ピリオドを②～⑤の要領でセットしてください(最大9プログラム)	リセット		0:00 24 P4
⑥プログラムセット終了	リセット *省略可		10:00 0 24 0
3. スタート プレイヤーがボールを保持したら、24秒タイマーをスタートさせてください	スタート ストップ	スタート ストップ	10:00 0 24 0 9:59 0 24 0 9:58 0 23 0 ⋮
4. シュート ※2		リセット 押し続け	9:50 0 0 ⋮ 24秒タイマー消灯
5. リバウンドをとった		リセット はなす	9:48 0 24 0 9:47 0 23 0
6. 中断	スタート ストップ	スタート ストップ	2:30 0 20 0
7. 再開	スタート ストップ	スタート ストップ	2:30 0 20 0 ⋮
8. 24秒経過 ※3 ※4	スタート ストップ	ストップします	⋮ ピー 2:07 0 0 0
9. 24秒に戻します		リセット	2:06 0 24 0
10. プレイヤーがボールを保持しました	スタート ストップ	スタート ストップ	2:05 0 24 0

次ページへ続く

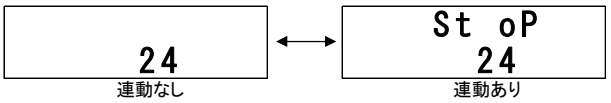
前ページの続き

操作手順	キー操作		モニター表示
	メインタイマー（試合時間）	サブタイマー(24秒・30秒ﾀｲﾏｰ)	
11. 試合時間経過 インターバル・第2ピリオド以降のプログラムがある場合は、ひきつづきインターバル時間が表示されますので、試合時間 スタート／ストップ キーでスタート させてください			⋮ ピー 0:00 0 15 0
12. 試合時間に戻します	リセット	リセット	10:00 0 24 0

※1. インターバル・第2ピリオド以降をプログラムしない場合は リセット キーを押さずに スタート／ストップ キーでスタートしてください。 リセット キーを押すとプログラムモードに入ります。

※2. リセット キーを押しているあいだ表示は消灯し、離すと24秒に戻ります。カウントダウン中であれば、そのまま24秒からカウントダウンを続けます。

※3. 24秒・30秒タイマーが0になったとき、自動的に試合時間タイマーを停止させたいときは、カウント停止中に得セット クリア キーを押し、現在の連動モードを表示させてください。
連動モード表示中に得セット クリア キーを押すたびに「連動あり/なし」が切り替わり、2秒後に通常表示に戻ります。



連動なし　　連動あり

※4. リセット キーを押す直前の時間に戻したい場合は、カウントを停止し、得セット・右 キーを押してください。時間が表示されますので スタート／ストップ キーでスタートさせてください。

●時間の訂正がしたいとき

カウント停止中にタイマーの 分＋1 、分－1 、秒＋1 、秒－1 、1/10秒＋1 、1/10秒－1 キーで訂正してください。

●試合時間の設定を変えたいとき

カウント停止中にメインタイマーの クリア キーを押して、1.～2.の要領で設定しなおしてください。

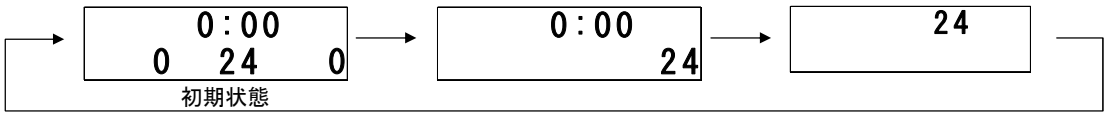
●24秒タイマーの設定を24秒以外に変えたいとき

サブタイマー クリア キーを押してから、24秒タイマー 秒＋1 、秒－1 キーで24秒タイマーを希望の時間に合わせて、3.の スタート／ストップ キーを押してください。

※24秒と30秒の切換は、カウント停止中に 30秒/24秒切換 キーで行えます。

●24秒タイマーの表示位置を変えたいとき

サブタイマーの クリア キーを押して、コートチェンジ キーを押すたびに表示位置が切り替わります。



初期状態

■得　点

操作手順	キー操作 得　点	モニター表示
1. 左チームが得点しました	左・得点＋1	0:00 1 24 0
2. 右チームが得点しました	右・得点＋1	0:00 1 24 1
3. 右チームが得点しました	右・得点＋1	0:00 1 24 2
4. コートチェンジ	コートチェンジ	0:00 2 24 1
5. 0対0に戻します	クリア	0:00 0 24 0

■ポゼション

左・ポゼション キーを押すと左チームのポゼションが点灯します。
右・ポゼション キーを押すと左が消灯し右チームのポゼションが点灯します。
点灯している側の ポゼション キーを押すとポゼションが消灯します。
コートチェンジ キーで左右が入れ替わります。

モニター表示
＜ 0:00
0 24 0
ポゼション

（F02）バスケット

試合時間タイマー
得点／タイムアウトタイマー

モニター表示

試合時間タイマーに前半・休憩・後半※1などの時間を最大9種類までプログラムできます。
※クォーター制のプログラム方法は、7ページをご覧下さい。

■試合時間タイマー／タイムアウトタイマー（60秒）

操作手順	キー操作 メインタイマー（試合時間）	キー操作 サブタイマー（タイムアウト）	モニター表示
1. 試合時間に合わせてください （例：20分） （メインタイマー：分＋1・分－1・秒＋1・秒－1キー）	分＋1 押し続け		20:00 0 0
※1 プログラムモード 2. 休憩・後半をプログラムする場合 ①1. の前半時間をメモリーします	リセット		0:00 P2
②休憩時間に合わせてください （例：10分） （メインタイマー：分＋1・分－1・秒＋1・秒－1キー）	分＋1 押し続け		10:00 P2
③休憩時間をメモリーします	リセット		0:00 P3
④後半時間に合わせてください （例：20分） （メインタイマー：分＋1・分－1・秒＋1・秒－1キー）	分＋1 押し続け		20:00 P3
⑤後半時間をメモリーします	リセット		0:00 P4
⑥プログラムセット終了	リセット *省略可		20:00 0 0
3. スタート	スタート／ストップ		20:00 0 0 19:59 0 0 ⋮
4. 中断	スタート／ストップ		12:30 0 0
5. 再開	スタート／ストップ		12:30 0 0 ⋮
6. チャージド・タイムアウト ※2	スタート／ストップ	スタート／ストップ	10:30 0 60 0 10:30 0 59 0 ⋮ ピー 10:30 0 0 0
7. ブザーが鳴り終わるとタイムアウトタイマーが消灯します			10:30 0 0
8. 再開	スタート／ストップ		10:30 0 0 ⋮
9. 試合時間経過 休憩・後半のプログラムがある場合は、ひきつづき休憩時間が表示されますので、試合時間 スタート／ストップ キーでスタートさせてください			⋮ ピー 0:00 0 0
10. 試合時間に戻します	リセット		20:00 0 0

※1. 休憩・後半時間をプログラムしない場合は [リセット] キーを押さずに [スタート／ストップ] キーでスタートしてください。
[リセット] キーを押すとプログラムモードに入ります。
※2. 60秒が経過する前にタイムアウトが終わった場合は、サブタイマーの [スタート／ストップ] キーでタイムアウトタイマーをストップし、サブタイマーの [リセット] キーで消灯させてください。

●時間の訂正がしたいとき

カウント停止中にタイマーの [分＋1]、[分－1]、[秒＋1]、[秒－1]、[1/10秒＋1]、[1/10秒－1] キーで訂正してください。

●試合時間の設定を変えたいとき

カウント停止中にメインタイマーの [クリア] キーを押して、1.～2.の要領で設定しなおしてください。

●タイムアウトタイマーの設定を60秒以外に変えたいとき

カウント停止中にサブタイマーの [クリア] キーを押して、サブタイマーの [秒＋1] 、 [秒－1] キーを押して希望の時間に合わせて、サブタイマーの [リセット] キーを押してください。
設定した時間がメモリーされ消灯します。

■得　点

操作手順	キー操作 得　点	モニター表示
1. 左チームが得点しました	左・得点＋1	0：00 1　0
2. 右チームが得点しました	右・得点＋1	0：00 1　1
3. 右チームが得点しました	右・得点＋1	0：00 1　2
4. コートチェンジ	コートチェンジ	0：00 2　1
5. 0対0に戻します	クリア	0：00 0　0

■ポゼション

[左・ポゼション] キーを押すと左チームのポゼションが点灯します。
[右・ポゼション] キーを押すと左が消灯し右チームのポゼションが点灯します。
点灯している側の [ポゼション] キーを押すとポゼションが消灯します。
[コートチェンジ] キーで左右が入れ替わります。

モニター表示
＜　0：00
0　0
ポゼション

（F03）バレー

得点
得セット／タイムアウトタイマー

■得　点／得セット

操作手順	キー操作		モニター表示
	得　点	得セット	
1. 0対0に戻します	クリア	クリア	0 0 0 0
2. 左チームが得点しました	左・得点＋1		1 0 0 0
3. 右チームが得点しました	右・得点＋1		1 1 0 0
4. 右チームが得点しました	右・得点＋1		1 2 0 0
5. 右チームがゲームを取りました		右・得セット＋1	1 2 0 1
6. コートチェンジ	コートチェンジ		2 1 1 0
7. 0対0に戻します	クリア	クリア	0 0 0 0

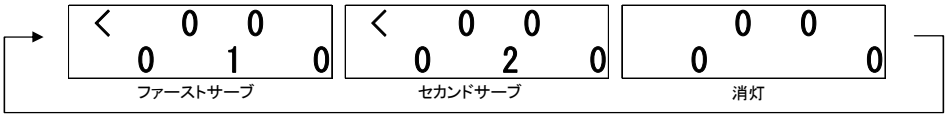
■サーブ権

左・サーブ権 キーを押すと左チームのサーブ権が点灯します。　右・サーブ権 キーを押すと左が消灯し右チームのサーブ権が点灯します。点灯している側の サーブ権 キーを押すとサーブ権が消灯します。
※サーブ権と得点は独立していますので、サーブ権のない側でも得点入力を受け付けます。

●ファーストサーブとセカンドサーブの表示が必要なとき

1分以下1/10秒 キーを押してください。モニターの1/10秒表示がOFFからONに変わり、ファースト・セカンドサーブモードに入ります。

左・サーブ権 （または 右・サーブ権 ）キーを1回押すごとに



と表示が変わります。

1分以下1/10秒 キーをもう1度押すと、通常のサーブ権表示モードに戻ります。

■タイムアウトタイマー （30秒）

操作手順	キー操作	モニター表示
	サブタイマー（タイムアウト）	
1. チャージド・タイムアウト　※1	スタート ストップ	0 0 0 30 0 0 0 0 29 0 ⋮ ピー 0 0 0 0 0
2. ブザーが鳴り終わるとタイムアウトタイマーが消灯します		0 0 0 0

※1. 30秒が経過する前にタイムアウトが終わった場合は、サブタイマー スタート／ストップ キーでタイムアウトタイマーをストップし、リセット キーで消灯させてください。

●タイムアウトタイマーの設定を30秒以外に変えたいとき

カウント停止中にサブタイマーの クリア キーを押して、サブタイマー 秒＋1 、秒－1 キーを押して希望の時間に合わせて、サブタイマー リセット キーを押してください。設定した時間がメモリーされ消灯します。

■インターバルタイマー

試合中にセット間のインターバルの残り時間を表示することができます。試合前にインターバル時間を設定しておいてください。

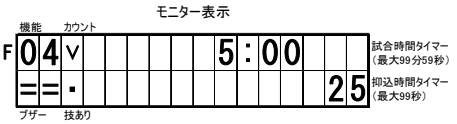
操作手順	キー操作 メインタイマー（タイマー）	モニター表示
1. インターバル時間に合わせてください（例：2分） （メインタイマー：分＋1・分－1・秒＋1・秒－1キー）	分＋1 2回	2:00 0 0
2. 予鈴を鳴らす場合 ①インターバル時間をメモリーします	リセット	2:00 0 0
②予鈴時間に合わせてください（例：30秒） （メインタイマー：分＋1・分－1・秒＋1・秒－1キー）	秒＋1 押し続け	0:30 0 0
③予鈴時間をメモリーします（スタート後、 予鈴時間になると短いブザーが鳴ります）	リセット	ピッ 2:00 0 0
④ご希望に応じてその他の予鈴時間を②～③ の要領でセットしてください（最大10点）		
3. 時間設定終了	リセット	2:00 0 0
4. 表示部上段が得点表示に戻ります 『得点』操作手順に従って得点表示を行ってください	リセット	0 0 0 0
5. インターバルタイマー スタート 表示部上段が得点表示からインターバルタイマーに 切り替わります	スタート ストップ	2:00 0 0 1:59 0 0 ⋮ ピー 0:00 0 0
6. ブザーが鳴り終わると得点表示に戻ります		0 0 0 0

●インターバル時間の設定を変えたいとき

カウント停止中にメインタイマーの クリア キーを押して、1.～3.の要領で設定しなおしてください。

(F04)柔道

試合時間タイマー
抑え込みタイマー



抑え込み時間に国際ルールの『1本＝25秒』と
『技あり、警告をとられている場合＝20秒』があらかじめセットされています。
国内ルールの30／25秒に変更することもできます。

操作手順	キー操作		モニター表示
	メインタイマー(試合時間)	サブタイマー(抑え込み)	
1. 試合時間に合わせてください(例:5分) (メインタイマー:分＋1・分ー1・秒＋1・秒ー1キー)	分＋1 5回		5:00
2. 抑え込み時間の設定を変えたいとき (サブタイマー:秒＋1・秒ー1キー) ①『1本』を30秒に変える場合 (変えなければ25秒)		秒＋1 押し続け リセット	5:00 30 5:00
②『技あり、警告をとられている場合』を25秒に変える場合 ※1 (サブタイマー:秒＋1・秒ー1キー) (変えなければ20秒) ※以下の説明は変えなかった場合です		秒＋1 押し続け リセット	5:00 25 5:00
3. 試合開始 設定時間がメモリーされます	スタート ストップ		5:00 4:59 ⋮
4. 抑え込みにはいった ※2 ※3		スタート ストップ	1:30 0 1:29 1 ⋮
5. 抑え込み中に"待て"がかかった	スタート ストップ	連動してストップします	1:15 15
6. 試合再開	スタート ストップ	連動してスタートします	1:15 15 1:14 16 ⋮
7. 抑え込みとけた ※4		スタート ストップ	1:10 20 1:09 20 ⋮
8. 次の抑え込みはいった 0からカウントアップを開始します		スタート ストップ	1:05 0 1:04 1 ⋮
9. 25秒経過	連動してストップします	ストップします	⋮ ピー 0:40 25
10. 試合時間経過 ※5			⋮ ピー 0:00 20
11. 試合時間に戻します 抑え込み時間は消灯します	リセット		5:00

※１．『技あり､警告をとられている場合』時間を変える場合は､必ずその前に『１本』の時間を設定してください。
※２．抑え込まれた選手がすでに『技あり、警告をとられている場合』（２０秒で１本となります）
抑え込みのカウントをスタートさせた後、メインタイマー [1分以下1/10秒(抑え込み時間切替)] キーを押してください。
『技あり表示』がONになり、２０秒経過するとブザーが鳴ってカウントが止まるように変わります。抑え込みカウント中にもう１度 [1分以下1/10秒] キーを押すと、『技あり表示』がOFFになり、２５秒の設定に戻ります。
抑え込みがとけた（抑え込み [スタート／ストップ] キーを押した）ときは、自動的に『２５秒』の設定に戻ります。

『1本』
25秒でブザーが鳴って止まる設定になります

『技あり､警告をとられている場合』
20秒でブザーが鳴って止まる設定になります

※３．[サーブ権] キーで抑え込み側の矢印ランプを点灯させることもできます。
もう１度押すと消灯します。
※４．抑え込みのカウント停止中に、抑え込み [リセット] キーを押すと、抑え込み時間表示が消灯します。
※５．抑え込みカウント中に、試合時間が０：００になった場合
試合は継続しますので、終了ブザーは鳴らず、抑え込みのカウントも継続します。
抑え込みがとけたときは、抑え込み [スタート／ストップ] キーを押してください。ブザーが鳴って試合が終了します。

●時間の訂正がしたいとき　（試合時間タイマー、抑え込みタイマー）

カウント停止中にタイマーの [分＋1] 、[分－1] 、[秒＋1] 、[秒－1] キーで訂正してください。

●試合時間の設定を変えたいとき

カウント停止中にメインタイマーの [クリア] キーを押して、1.の要領で設定しなおしてください。

●抑え込み時間の設定を変えたいとき

カウント停止中にサブタイマーの [クリア] キーを押して、2.の要領で設定しなおしてください。

(F05)ボクシング　試合時間タイマー ラウンド数

試合時間(ボックスタイムとインターバルタイム)と現在のラウンド数を表示します。

操作手順	キー操作 メインタイマー(試合時間)	キー操作 サブタイマー(ラウンド)	モニター表示
1. プログラム1(P1)にボックスタイムを入力してください (メインタイマー:分+1・分−1・秒+1・秒−1キー) (例:3分) 表示が予鈴を表すF1にかわります	分+1 3回 リセット		3:00 0 P1 0:00 0 F1
2. 予鈴を鳴らす場合 (メインタイマー:分+1・分−1・秒+1・秒−1キー) ラストラッシュタイム設定 予鈴を鳴らす時間に合わせてください(例:30秒)	秒+1 押し続け		0:30 0 F1
3. 予鈴設定モードから抜け出します 表示がプログラム2を表すP2にかわります	リセット		0:00 0 P2
4. プログラム2(P2)にインターバルタイムを入力して ください (メインタイマー:分+1・分−1・秒+1・秒−1キー) (例:1分) 表示が予鈴を表すF2にかわります	分+1 リセット		1:00 0 P2 0:00 0 F2
5. 予鈴を鳴らす場合 (メインタイマー:分+1・分−1・秒+1・秒−1キー) 予鈴を鳴らす時間に合わせてください(例:5秒)	秒+1 5回		0:05 0 F2
6. 予鈴設定モードから抜け出します	リセット		0:00 0 P3
7. ラウンド数を設定する場合(しない場合はエンドレス) (回数+1・回数−1キー) 希望の回数に合わせてください (例:3回)		回数+1 3回	0:00 3 P3
8. プログラムセット終了	リセット ※1 *省略可		3:00 1
9. スタート 表示部下段左に現在のラウンド数が表示されます インターバルに入ると表示下段右下にーーが表示 されます	スタート ストップ		ピー 3:00 1 2:59 1 ⋮予鈴 ピッ 0:30 1 ⋮ ピー 0:00 1 1:00 1 −− 0:59 1 −−
10. 試合終了			⋮ ピー 0:00 3
11. 試合時間に戻します	リセット		0:00 1

●試合時間の訂正がしたいとき

カウント停止中にメインタイマーの 分+1 、分−1 、秒+1 、秒−1 キーで訂正してください。

●試合時間の設定を変えたいとき

カウント停止中にメインタイマーの クリア キーを押して、1.～8.の要領で設定しなおしてください。

(F06)プログラムタイマー

最大9種類の時間を連続設定できるタイマーです。

操作手順	キー操作		モニター表示
	メインタイマー(プログラム)	サブタイマー(繰返回数)	
1. プログラム1(P1)を希望の時間に合わせてください (メインタイマー:分＋1・分−1・秒＋1・秒−1キー) (例:3分)	分＋1 3回		3:00 0 P1
2. プログラム1の時間をメモリーします プログラム番号がP2にかわります	リセット		0:00 0 P2
3. プログラム2(P2)を希望の時間に合わせてください (メインタイマー:分＋1・分−1・秒＋1・秒−1キー) (例:1分)	分＋1		1:00 0 P2
4. プログラム2の時間をメモリーします プログラム番号がP3にかわります	リセット		0:00 0 P3
5. ご希望に応じてプログラム3以降を1. ～4. の要領でセットしてください(最大9プログラム)			
6. 繰返回数を設定する場合(しない場合はエンドレス) 希望の回数に合わせてください (例:3回) (回数＋1・回数−1キー)		回数＋1 3回	0:00 3 P3
7. プログラムセット終了	リセット ※1 *省略可		3:00 1 P1
8. スタート プログラム1のカウントダウンがスタートし、0:00になるとブザーが鳴り、引き続きプログラム2のカウントダウンが行われます プログラムのひとまわりを1回と数え、現在の繰り返し回数が表示部下段左に表示されます	スタート ストップ		ピー 3:00 1 P1 2:59 1 P1 ⋮ ピー 0:00 1 P1 1:00 1 P2 0:59 1 P2 ⋮ ピー 0:00 1 P2 3:00 2 P1 2:59 2 P1 ⋮ 3回繰り返して、ストップ
9. プログラムの最初に戻します	リセット		3:00 1 P1

●時間の訂正がしたいとき

カウント停止中にメインタイマーの 分＋1 、分−1 、秒＋1 、秒−1 キーで訂正してください。

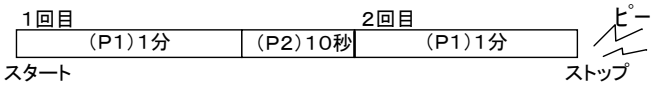
●時間の設定を変えたいとき

カウント停止中にメインタイマーの クリア キーを押して、1.～7.の要領で設定しなおしてください。

●最後の休憩時間をなくしたいとき

８.の前に得点 クリア キーを押してください。

（例） Ｐ１にダッシュ１分を、Ｐ２に休憩１０秒を設定し、繰返回数を２回にした場合



となり２回目のＰ２（休憩１０秒）はカウントされずにストップします。

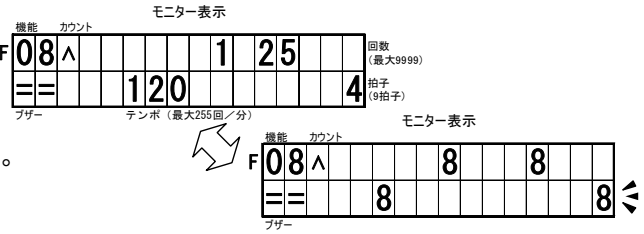
(F07)ペースメーカー

テンポ(早さ)や拍子を自由に設定して、ペース音を鳴らせます。

操作手順	キー操作 メインタイマー(ペース)	キー操作 サブタイマー(繰返回数)	モニター表示
1. 希望のテンポ(早さ)に合わせてください ※1 (例:130回／分) (メインタイマー:秒＋1・秒－1キー)	秒＋1 10回		0 130 1
2. 希望の拍子に合わせてください (例:2拍子) (メインタイマー:分＋1・分－1キー)	分＋1		0 130 2
3. 繰返回数を設定する場合(しない場合はエンドレス) 希望の回数に合わせてください (例:100回) (回数＋1・回数－1キー)		回数＋1 押し続け	1 00 130 2
4. スタート 繰り返し回数の設定がメモリーされます 回数は拍子の頭を1回と数え、表示部上段に カウントアップ表示されます テンポ、拍子の変更は常時受け付けます	スタート ストップ		ブッ 1 130 2 ⋮ ピッ 1 130 2 ⋮ ブッ 2 130 2 ⋮ ピッ 2 130 2 ⋮ 100回繰り返して、ストップ
5. 回数を0に戻します	リセット		0 130 2

※ 表示部ディスプレイのテンポ表示は、200以上の設定のとき百の位の下半分が消灯します。

(F08)敏捷性トレーニング



表示部上段左右と下段左右の4ヶ所がランダムに光ります。

操作手順	キー操作		モニター表示
	メインタイマー(敏捷性)	サブタイマー(繰返回数)	
1. 希望のテンポ(早さ)に合わせてください ※1 (メインタイマー:秒＋1・秒ー1キー)　(例:130回／分)	秒＋1 10回		0 130 1
2. 希望の拍子に合わせてください　(例:2拍子) (メインタイマー:分＋1・分ー1キー)	分＋1		0 130 2
3. 繰返回数を設定する場合(しない場合はエンドレス) 希望の回数に合わせてください　(例:100回) (回数＋1・回数ー1キー)		回数＋1 押し続け	1 00 130 2
4. スタート 繰り返し回数の設定がメモリーされます テンポ、拍子の変更は常時受け付けます 動作中にテンポや拍子の設定内容が見たときは、 右・得点＋1 キーを押してください。 キーを押している間、設定内容が表示されます	スタート ストップ		ブッ 8 ⋮ ピッ ⋮ ブッ 8 ⋮ ピッ ⋮ 100回繰り返して、ストップ
5. 回数を0に戻します	リセット		0 130 2

※　表示部ディスプレイのテンポ表示は、200以上の設定のとき百の位の下半分が消灯します。

(F09)踏台昇降テスト

スポーツテスト

踏台昇降テストがあらかじめプログラムされています。ペース音付き。

操作手順	キー操作 メインタイマー(踏台)	モニター表示
1. スタート ①テスト開始3秒前からの予鈴が鳴り、続いて昇降運動時間3分がカウントダウン表示されます。　※1 ②昇降運動が終了するとブザーが鳴り、続いて1回目の休憩時間1分がカウントダウン表示されます。 ③休憩終了3秒前から予鈴が鳴り、続いて1回目の脈拍測定時間30秒がカウントダウン表示されます。 (表示部下段に1回目の脈拍測定であることを示すPL1が点灯します) ④脈拍測定終了3秒前から予鈴が鳴り、続いて2回目の休憩時間30秒がカウントダウン表示されます。 ⑤休憩終了3秒前から予鈴が鳴り、続いて2回目の脈拍測定時間30秒がカウントダウン表示されます。 (表示部下段に2回目の脈拍測定であることを示すPL2が点灯します) ⑥脈拍測定終了3秒前から予鈴が鳴り、続いて3回目の休憩時間30秒がカウントダウン表示されます。 ⑦休憩終了3秒前から予鈴が鳴り、続いて3回目の脈拍測定時間30秒がカウントダウン表示されます。 (表示部下段に3回目の脈拍測定でることを示すPL3が点灯します) ⑧脈拍測定終了3秒前から予鈴が鳴り、プログラム終了のブザーが鳴ります。	スタート ストップ	ピッ 0:03 ⋮ ブッブッ 3:00 ピッピッ 2:59 ⋮ ⋮ ピー 0:00 PL 3
2. プログラムの最初に戻します	リセット	0:03

※1　テスト開始前予鈴時間は[分+1]、[分−1]、[秒+1]、[秒−1]キーで変更可能です。(最大99分59秒)

(F10)20m シャトルラン

スポーツテスト

20mシャトルランテストがあらかじめプログラムされています。ペース音付き。

操作手順	キー操作		モニター表示
	メインタイマー(20m)	サーブ権	
1. 最初に走る方向に矢印をつけます		右	0:05 >
2. スタート 5秒前からの予鈴が鳴り、続いてテストがスタートします ※1 スタート 1シャトルにつき8回のペース音 (ドレミファソラシド)が鳴ります。 ペース音の間隔は約1分ごとに 短くなっていきます 走る 逆向きにスタート 走る	スタート ストップ		ピッ 0:05 > ⋮ ピー 0 > L 1 0 ドレミ‥ 0 > L 1 1 ⋮ ピー < 1 L 1 0 ドシラ‥ < 1 L 1 1 ⋮
3. ストップ	スタート ストップ		1 20 > L 13 0
4. プログラムの最初に戻します	リセット		0:05 >

●カウント中にメインタイマーの 秒+1 キーを押すと早送りします。

※1 テスト開始前予鈴時間は 分+1 、 分−1 、 秒+1 、 秒−1 キーで変更可能です。(最大99分59秒)

(F11)反復横とびテスト

スポーツテスト

設定時間からのタイマー。反復横とび用に20秒がセットしてあります。

操作手順	キー操作 メインタイマー(反復)	モニター表示
1. スタート	スタート ストップ	ピー 20 19 ⋮
2. 20秒経過		⋮ ピー 0
3. 20秒に戻します	リセット	20

●２０秒以外に設定を変えたいとき

メインタイマーの クリア キーを押して、 秒＋1 、秒－1 キーで希望の時間に合わせて
スタート／ストップ キーでスタートしてください。

(F12)ストップウォッチ

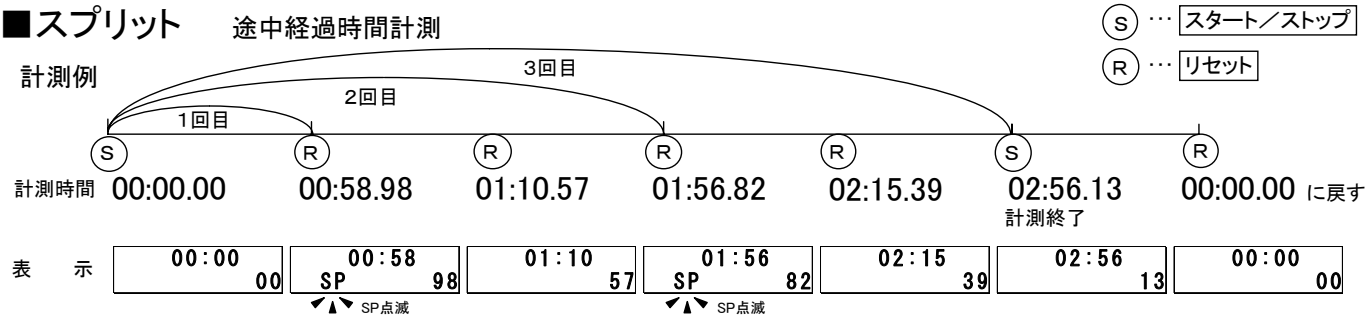
操作手順	キー操作 メインタイマー(ストップウォッチ)	モニター表示
1. スタート	スタート ストップ	00:00 00 00:00 01 ⋮
2. ストップ	スタート ストップ	24:58 98
3. 00:00に戻します	リセット	00:00 00

●測定時間が200時間を越えると、引き続き00:00. 00よりカウントを続けます。

●スタート時にブザーを鳴らしたいとき

ブザー音色・音量切換 キーを押して、ブザー音の設定をしてください。

■スプリット　途中経過時間計測



●時間を訂正したいとき

カウント停止中に 左・得点＋1 、左・得点－1 キーで時を、メインタイマー 分＋1 、分－1 キーで分を、
秒＋1 、秒－1 キーで秒を訂正してください。

(F13)タイマー

設定時間からの残り時間を表示できます。予鈴付き。

操作手順	キー操作 メインタイマー(タイマー)	モニター表示
1. 設定時間に合わせてください(例:10分) (メインタイマー:分+1・分−1・秒+1・秒−1キー)	分+1 10回	10:00
2. 予鈴を鳴らす場合 ①設定時間をメモリーします	リセット	10:00
②予鈴時間に合わせてください(例:1分) (メインタイマー:分+1・分−1・秒+1・秒−1キー)	分+1	1:00
③予鈴時間をメモリーします(スタート後、 予鈴時間になると短いブザーが鳴ります)	リセット	ピッ 10:00
④ご希望に応じてその他の予鈴時間を②〜③ の要領でセットしてください(最大10点)		
3. スタート 設定時間がメモリーされます 予鈴時間になると短いブザーが鳴ります	スタート ストップ	10:00 9:59 ⋮
4. 中断	スタート ストップ	2:30
5. 再開	スタート ストップ	2:30 ⋮
6. 設定時間経過		⋮ ピー 0:00
7. 設定時間に戻します	リセット	10:00

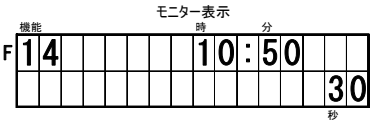
●時間の訂正がしたいとき

カウント停止中にメインタイマーの[分+1]、[分−1]、[秒+1]、[秒−1]、[1/10秒+1]、[1/10秒−1] キーで訂正してください。

●試合時間の設定を変えたいとき

カウント停止中にメインタイマーの[クリア] キーを押して、1.〜2.の要領で設定しなおしてください。

(F14)時　計　（24時間計）



操作手順	キー操作		モニター表示
	メインタイマー（時：分）	サブタイマー（秒）	
1．現在時刻に合わせてください（例：10時50分30秒） （メインタイマー：分＋1・分－1・秒＋1・秒－1キー、サブタイマー：秒＋1・秒－1キー）	時 [分＋1] 10回 分 [秒－1] 10回	秒 [秒＋1] 押し続け	10:50 30
2．スタート	[スタート/ストップ]		10:50 30 10:50 31 ⋮

●カウント停止中にメインタイマーの [リセット] キーを押すと０時００分００秒に戻ります。

●時計の訂正がしたいとき
　カウント停止中にタイマーの [分＋1] 、[分－1] 、[秒＋1] 、[秒－1] キーで訂正してください。

◀7▶ 故障かなと思ったら　修理を依頼される前に次の点をもう一度ご確認ください。

症　状	ご確認ください（参照ページ）	使用を再開するとき
点灯しない	●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？ ●電源コードが断線していませんか？	●しっかり差し込んでください。 ●交換してください。 電源コードPW05C3
途中で0に戻る でたらめな表示をする	●電源を瞬間的にON/OFFしませんでしたか？(→P2 <2>) ●もとの電源が瞬間的に落ちたり大きなノイズがのると動作がおかしくなることがあります。(→P4 <3>-(9))	●電源を、5秒以上待って入れ直してください。 ●メインタイマー [クリア] キーを5秒以上押し続けてオールリセットを行ってください。
キーを受けない	●2つ以上のキーを同時に押していませんか？(→P2 <2>) ●子機として使用していませんでしたか？(→P5 <4>-(2)-①)	●キーは1つずつ押してください。 ●[親機]キーを押してください。
子機が親機と同じ表示をしない	●[親機]キーを押しましたか？(→P5 <4>-(2)-①) ●通信ケーブルが抜けていませんか？(→P5 <4>-(1))	●操作するTOP100Xの[親機] キーを押してください。 ●通信ケーブルを接続してください。

●上記以外の異常がある場合は、使用を中止し電源プラグを抜いてから、販売店に点検・修理をご相談ください。

■長年ご使用のさいの点検を

このような 症状はありま せんか？	●電源コード、プラグが非常に熱い ●煙が出たり、焦げ臭い臭いがする ●本体の一部に割れ、ゆるみ、がたつきがある。 ●本体に触ると、ピリピリ電気を感じる。 ●その他、異常・故障がある。	⇨	ご使用 中止	このような症状のときは故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて販売店に、点検・修理をご相談ください。

◀8▶ 仕　様

■サイズ・重量　：　幅59×奥行36.7×高さ33cm、5kg
数字高さ　　上段：赤12cm、下段：黄、赤11cm

■電　源　：　AC100V　50/60Hz、最大消費電力　30W

●製品の機能を維持するために必要な補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後７年です。
●品質向上のため予告なく仕様を変更することがあります。あらかじめご了承ください。

MADE IN JAPAN

保証書

本書は下記の保証規定の内容により無料で修理および調整を行うことをお約束するものです

品　　名：デジタイマ１００
品　　番：ＴＯＰ１００Ｘ
保 証 期 間：お買い上げ日より６ケ月
お買い上げ日：　　年　　月　　日

株式会社 モルテン
東京本社　東京都墨田区横川５丁目５－７
TEL 03-3625-8302

■お客様

おところ	TEL(　　)　　－
お名前	様
販売店名	

保証規定

■保証期間中にお客様の正常なご使用状態で万一故障した場合は本保証書に記載された保証規定に従い、無償で修理させていただきますので、製品と保証書をご持参、ご提示の上お買い上げの販売店にご依頼ください。※本保証書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。
■保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
①保証書のご提示がない場合　②保証書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合　③使用者側での輸送・移動時の落下等お取扱いが適当でないために生じた故障・損傷の場合　④説明書に記載の使用方法および注意に反するお取扱い、または不良な修理や改造による故障・損傷　⑤火災・天災および異常電圧等外部に要因がある場合
■この保証書は国内で使用される場合だけ有効です。This warranty shall be valid only in Japan.